

(議長)

次に、出崎議員の発言を許可致します。

「出崎議員」

はい。

(議長)

出崎議員。

「出崎議員」

えー私からは、2問、質問致します。

1問目、えー空き家等実態調査の結果についてお伺いします。えー本年度、空き家等実態調査及び台帳整備が実施されております。その調査の進捗状況、それから結果の公表時期及び、この、今後、その成果をどのように活用していくかについて、考えをお伺い致します。

「町長」

議長。

(議長)

町長。

「町長」

出崎議員の1問目、空き家等実態調査の結果についてのご質問にお答え致します。

調査の進捗状況についてでございますが、調査内容は建物の現地調査、建物の不良度判定調査、建物所有者への意向調査となっており、全調査が終了しております。

調査の公表時期につきましては、年度内に、本年度内にホームページにてお知らせをしたいと考えております。

また、調査成果につき、つきましては、現在、策定中である江差町空き家等対策計画に活用させることとしております。

今回の調査で明らかとなった課題や対策を整理し、今後の空き家対策に生かして参りたいと考えておりますので、ご理解願いたいと思います。

(議長)

出崎議員。

「出崎議員」

えーと、ありがとうございます。えーとまあ、この空き家については、今後、あの一資産ともなりふる、なり得ると考えておりますので、その活用についてははっきり、あの一、えーご考慮頂きたいと思っております。

2番目に入ります。あの一鍋まつりの結果についてお伺いします。

えー先月上旬、江差美味多彩なべまつりが開催され、えー盛況を博したようですが、以下についてお伺いします。

えー1つ目、江差町が、あの共催になっておりますけれども、共催の江差町として、どんなメニューに人気が集まったか把握していたら教えて頂きたい。

で、2つ目、この成果を今後のイベント等にどのように繋げて行くか、えー意見がありましたらお聞かせ願います。

「町長」

議長。

(議長)

町長。

「町長」

出崎議員の2問目、なべまつりの結果についてのご質問にお答え致します。

例年2月に開催される江差たば風の祭典のメインイベントであるなべまつりは、食を通じて地域の活性化や観光客誘致を目的に、江差観光コンベンション協会が主催し、子供からお年寄りまで全世代が楽しめる、今年で26回目を数える冬には欠かせないものとなっております。

どのようなメニューに人気が集まったかのご質問でございますが、各店舗とも独自のメニューを出し、それぞれ好評であったと伺っております。

また、この成果を今後どの、今後のイベント等にどのように繋げて行くのかというご質問に関しましては、主催者にて来場者アンケートを行っており、皆様から寄せられた声を次回以降のイベントづくりに反映するものと聞いており、本イベントを共催しております町と致しましても協力して行きたいというふうに考えております。

(議長)

出崎議員。

「出崎議員」

再質問致します。あの一イベントの後での情報収集、これは、あの一やっぱり必要だと思います。

例えばですね、その情報を今後、開設の予定している新・道の駅の、えー事業者提供してですね、それから飲食メニューに参加して貰うとか、まあそういう事色んな

場面での活躍が考えられます。

えーとこのような活動ですね、私は、ま、追分観光課で行うのではなくて、えー江差観光みらい機構、DMOに、ま、期待したい。そういうふうに思ってるんですが、町はそのような考え、どう考えますか。

「追分観光課長」

追分観光課長。

(議長)

追分観光課長。

「追分観光課長」

はい。出崎委員からの再質問でございます。えー議員かねてからですね、えー江差観光みらい機構、えーDMOをですね、江差の観光の司令塔として機能させるべきっていうふうにおっしゃってございました。えー昨年の3月議会におきましても、えー一般質問があったところでございます。

えー観光振興全体を考える時ですね、えーDMOが果たす役割というのは非常に大きいものであるというふうに認識をしてございますし、えー地域全体に利益を生み出すために活動する法人として、えー出崎議員のご質問にありました内容につきましては、大変重要であるというふうに考えてございます。

えー今後につきましても、えーDMOの基盤強化を図りながらですね、えー江差町の、えー観光の中心的役割を担う団体として、えー町や、えー関係、関係団体と連携しながら進めて参りたいというふうに考えてございますので、えーご理解頂ければというふうに思います。

(議長)

出崎議員。

「出崎議員」

再々質問を行います。あの一町長、あのね。ちょっと自分は観光みらい機構、これやっぱり、あの一観光の司令塔として、えー機能を発揮出来るようにですね、これ整備し、すべきだと思っています。割と、あの一官公庁のこの、あの一構想が発表されてからも、割と早い段階で、町は立ち上げてますよね、このみらい機構について。

あの一、ま、えー町内で色んなイベントを開催する団体があります。その活動を邪魔する、そう言う事じゃなくて、えー、まあ通年でのそういう団体のイベントの連携だとか、それから上町だとか、あの一北部地域を含めた、町内全域の、んー観光行政へのですね、身代わりが必要だと思えます。ま、そういう面で、この、D、あの一観光みらい機構、これは重要だと思っております。

ま、来年度もですね、マリリンピングを含めて、えー3, 500万を超える補助金が予算案として出されております。えー、ま、例年このぐらいのお金は、あの一投入してる訳ですが、えー、ま、やり方によってはもっとお金が掛かるかもしれないというふうに私は思ってます。

でもですね、やはりあの一かもめ島の周りだけじゃなくて、全町での活動が見える、そのような活動をですね、是非この観光みらい機構に、あの一期待したいと思ってるんですが、えーその辺のお考えがありましたらお伺い致します。

(議長)

町長。

「町長」

ご指名を頂きましたので答弁させていただきます。

今、みらい機構の在り方と言う事、鍋まつりの今ご質問の中でのお話だったかなというふうに思います。

私自身もなべまつり2日間参加をさせて頂いて、えー全ての提供されている店舗の鍋料理を食べさせて頂きました。

本当に地域に根ざした郷土食である、うー鍋を出して頂いているところ、また独自に開発したメニューを出しているところ様々でござ、ございまして、大変楽しめるイベントだなというふうに感じているところでございます。

その一方で、これがイベントだけではなくて、通年で、或いは上町、或いは北部地域でも提供出来るような体制というご指摘だったかなというふうに思います。

えーまさに、我々目指しているところはそういうところでございまして、えーみらい機構がその中心を担うというのは、議員のご指摘の通りだというふうに思います。

令和8年度は、これ、これまでふらっと江差という物販をやっていたけれども、ここは、あー今後、道の駅に集約をして行くというところで、まあ、あの一マリリンピングというのはありますけども、本来の、マリリン、えーみらい機構の役割というのは地域DMO、DMOとして、えー地域の観光マネジメントをするという組織でございまして。そういった時に、どのように観光を考えて行くのかというのは、まさにこのみらい機構を中心に考えていかなきゃならないなというふうに思っているところでございまして。

しっかりですね、そういったもの、今までちょっと物販であったり、マリリンピングに軸足があるような体制かなというふうな、あー意識もあつたんですけども、しっかりですね、DMOとしての役割を令和8年度しっかり果たして参りたいと考えております。その中では先ほど出崎議員が指摘された、上町或いは北部地域或いは通年でというところを意識しながら運営を考えて行きたいと思っておりますので、ご理解頂きたいと思っております。

(議長)

以上で、出崎議員の一般質問を終わります。
2時20分まで休憩致します。

休憩 14 : 09